

# 学内施設の紹介・多目的トイレマップ

おむつ交換台、ベビーチェア、オストメイト、車いす設備のある多目的トイレマップを作成しました。



## 美術工芸資料館1Fトイレ

- おむつ交換台設置
- ベビーチェア設置
- 車いす対応
- オストメイト対応
- フィットティングボード設置



## 15号館 1F

- ベビーチェア設置
- 車いす対応
- オストメイト対応



## 9号館 1F トイレ

- おむつ交換台設置
- ベビーチェア設置
- 車いす対応



(※2015年12月現在の情報です。)



～応援します！研究と生活の両立～

# NEWS LETTER

KIT 男女共同参画推進センター通信

第8号  
2016.3

## KIT男女共同参画推進センター第9回セミナー「未来を創る理系のキャリアデザイン2015」を開催しました。

平成 27 年 10 月 21 日 (水) 午後、本学 60 周年記念館 2 階大セミナー室にて、KIT 男女共同参画推進センター第 9 回セミナーを開催いたしました。このセミナーは、本学で平成 22 年度より実施しています「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」との共同企画によるものです。理系の仕事やキャリアアップ、将来設計について、企業や研究機関等で活躍されている方を講師にお招きしました。

大谷センター長の開会挨拶に続き、デザイナーフーズ株式会社代表取締役社長の丹羽真清氏に「研究と挑戦—未来を創る、自分を生かす—」と題して、ご講演いただきました。メーカー勤務から独立し、さらに会社を設立され、食品や野菜の研究開発、商品開発、企画提案を行いながら、経験してこられた働き方、生き方について伺いました。

次に「企業のグローバル“人財”育成とキャリアデザイン」と題して、株式会社堀場製作所理事の野崎治子氏にご講演いただきました。企業の人事部門において、グローバルな“人財”育成、社員教育の仕組みづくりを担当されてきた経験とご自身のキャリアヒストリー、キャリアデザインの指針などを伺いました。

最後に、「男女共同参画社会を実現するための教育プログラム」を代表して、本学分子化学系の亀井加恵子教授に閉会の挨拶をいただき、セミナーは終了しました。

セミナー終了後には意見交換会を行い、講師の方と気軽に研究や仕事、キャリア形成などについて語り合い、交流を深めました。

参加者アンケートでは、約 85% の人が「参考になった」と答え、「女性の働き方から人生設計まで応用できる貴重な話が聞けて大変ためになりました」や「実際に成果を出されている方々の話、言葉には重みがありました」、「自分の仕事・生活に重ねて考える大変良い機会になりました」など多数の感想が寄せられました。



講師 丹羽真清氏



講師 野崎治子氏



第9回セミナーの様子

## インフォメーション

### ○女性活躍推進法が成立しました

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が制定されました。これにより、平成 28 年 4 月 1 日から、労働者 301 人以上の大企業は、女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが新たに義務づけられることとなりました。

### <女性活躍推進法とは>

※厚生労働省ホームページ（女性活躍推進法特集ページ）より

女性活躍推進法に基づき、国・地方公共団体、301 人以上の大企業は、

- (1) 自社の女性の活躍に関する **状況把握・課題分析**
- (2) その課題を解決するのにふさわしい数値目標と取組を盛り込んだ **行動計画の策定・届出・周知・公表**
- (3) 自社の女性の活躍に関する **情報の公表**を行わなければならない（300 人以下の中小企業は努力義務）。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住所 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2 号館南棟 1 階 134 号室

TEL・FAX 075-724-7757 (内線 7757)

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>

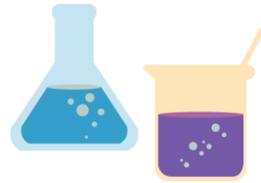
# 研究とライフイベントの両立支援

## 研究支援員制度

出産・育児や介護などライフイベント期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、研究活動の継続・進展を図る本学の制度です。小学校6年生までの子どもを養育中の方、または親族（同居、別居は問わない）を介護している研究者の方などが対象となります。配偶者が研究職の男性研究者も利用できます。

### 平成27年度（前期・後期）利用状況

利用教員数	利用事由
13名（女性12名・男性1名）	育児11名・介護2名



## 利用者の声

本制度利用者には利用終了後、支援内容や支援の効果などについて、ご報告いただいています。利用者の声を一部ご紹介します。

### 利用教員の声

「支援員に時間のかかる作業を補助していただき、研究にあてる時間が増えた」  
 「子育て中で時間が限られる中、支援員の配置で労力と時間を有する基礎研究を効率的に進められた。また、調査研究で成果を上げることができた。」  
 「実験やデータ入力等の補助により、研究の質の向上や研究推進に役立った」

### 支援員（大学院生等）の声

「データ入力に求められる正確さの重要性を改めて認識できた」  
 「新しい実験の手法や自分の研究では扱わない器材や装置の機能を習得できて、知識や技術のスキルアップになった」  
 「男女ともに働きやすい職場環境の確保や男女共同参画事業が身近にあることを初めて知った」  
 「支援する側、される側そのどちらにとっても有益な制度だと思う」

# 育児支援

## ベビーシッター育児支援（割引券）制度

本学では教職員を対象に、公益社団法人全国保育サービス協会が行っている「ベビーシッター育児支援事業」によるベビーシッター費用の一部補助（割引券）を行っています。

- 対象となる子ども**：0歳～小学校3年生の乳幼児・児童
- 利用条件**：家庭内における保育（家庭以外での利用は不可）、保育所等への送迎
- 割引内容**：1日あたり1,700円
- 利用方法**：割引券の発行・利用には、事前の申し込みが必要



※両立支援、制度の詳細内容は、KIT 男女共同参画推進センターHPに掲載しています。  
<http://www.sankaku.kit.ac.jp>

※両立支援、制度の利用については、KIT 男女共同参画推進センターへお問い合わせください。  
 TEL 075-724-7757 E-mail [sankaku@kit.ac.jp](mailto:sankaku@kit.ac.jp)



# 理系女子の裾野拡大

## 平安女学院高等学校「リケジョトーク」講座に参画しました。

平成27年12月10日（木）午後、平安女学院高等学校で開催された「リケジョトーク講座」に、本学女子大学院生3名（機能物質化学専攻：柚木英里さん、応用生物学専攻：後藤 萌さん、建築学専攻：河崎菜摘さん）が、講師として参画しました。

この講座は、女子中高生を対象に理系への興味関心を喚起し、理系への進路選択の可能性を拡げるため、平安女学院の女子高校生が企画し、KIT男女共同参画推進センターと本学女子学生が協力したものです。

はじめに、本学女子大学院生が大学での研究や実験、大学生活、理系に進んだきっかけなどについて紹介しました。続いての全体質問の後、3つのグループに分かれてリケジョトーク（質疑応答）を行いました。大学の研究や就職、文系と理系の違い、キャンパスライフから小中高生時代のことなど多岐にわたる質問が飛び交い、予定時間を1時間も超えて盛り上がりました。

女子中高生が実際の理系女子（リケジョ）の話聞くことで、理系の研究や大学生活に具体的なイメージをつかめたようでした。本学的女子学生にとっても地元の女子中高生と交流する貴重な機会となりました。

参加者アンケートでは、全員が「かなり良かった」と回答し、高い満足度が得られました。「大学での研究の様子を聞いて良かった。自分もああなりたいと思った」や「理系か文系か迷っているが、理系にいききたいと思った」、「自分の将来や夢を明確にするために努力したい」など多数の感想が寄せられました。



リケジョトークの様子



機能物質化学専攻：柚木英里さん



応用生物学専攻：後藤 萌さん



建築学専攻：河崎菜摘さん

# 活動報告

## ● 国立女性教育会館「平成27年度大学等における男女共同参画推進セミナー」に参加

平成27年12月3日（木）～4日（金）の2日間にわたり、東京、埼玉を会場に開催されました「平成27年度大学等における男女共同参画推進セミナー」に参加しました。

科学技術振興機構理事長の濱口道成氏による基調講演やジャーナリストで淑徳大学教授の野村浩子氏による講義、文部科学省からの「女性活躍推進法」についての施策説明、各大学からの事例を基にした分科会、大学における男女共同参画推進の調査報告などが行われました。



## ● 内閣府「ダイバーシティ・マネジメントセミナー」に参加

平成28年1月19日（火）、「ダイバーシティ・マネジメントセミナー～多様な人材の活用や働き方を考える～」(大阪会場)に参加しました。

三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社代表取締役社長の川島高之氏による基調講演、「男性社員の仕事と育児の両立について」の企業の事例紹介などが行われました。

